

日本のコロナ新規感染世界最多、1週間で97万人 WHO

2022年7月28日 日本経済新聞



27日、福岡市内のPCR検査所に並ぶ人たち=共同

【ジュネーブ=共同】世界保健機関（WHO）は27日、日本の新型コロナウイルスの新規感染者が24日までの1週間で96万9千人超に上り、世界最多だったと発表した。日本ではオミクロン型の新たな派生型「BA・5」による「第7波」の勢いが続いている。世界全体の感染者数は660万人超で、国別の感染者は米国が約86万人、ドイツが約57万人、イタリアが約53万人、フランスが約51万人と続いた。一方、死者は米国が最多で約2600人、ブラジルが約1400人だった。日本の死者は272人。

世界全体の感染者数は前週に比べて約30万人増加しており、WHOのテドロス事務局長は27日の記者会見で「パンデミック（世界的大流行）は終わりには程遠い」と強調。「ここ5週間、死者は増え続けている。入院患者が増加傾向にある国もある」と指摘し、医療従事者や高齢者に対するワクチン接種の重要性などを訴えた。

蛭原健のアバターリブライツパートナーズ 代表パートナー

コメントメニュー

別の視点検査所や病院に日本だけが未だに行っているからだろうと推察します。主要国の多くは家庭用簡易検査キットが一般的に普及しており、それで陽性になった場合は自宅隔離・療養が基本で病院にも検査所にもむしろ行かない事が奨励されています。その際には行政への届け出も公的カウントもされない場合がほとんどです。既に信頼に足る国民当たり検査数の世界比較データも一般に見当たらなくなりました。各国でPCR検査をほとんどしなくなったらでしようが、そういう事で検査数の比較もセットで論じない限りは感染者の絶対数を異なる前提の国際比較で論じる事にほとんど意味はないでしょう。